



ロボ技術集積 浜通りに光

南相馬市は東日本大震災の津波と東京電力福島第1原発事故の「複合災害」に見舞われた。地震と津波による犠牲者は525人、震災関連死は520人で、ともに福島県内で最も多い。

事故直後、放射能汚染を懸念した物流業者に配送を敬遠され、多くの住民が深刻な物資不足に苦しんだ。情報も入り乱れ、住民の8割以上が市外への避難を余儀なくされた。2016年7月に帰還困難区域を除く全市域で避難指示が解除され、人口は事故前の7割の5万2000を超えるまで回復した。

旧避難指示区域の再生は、20年3月に全面開所した「福島ロボットテストフィールド」を核として進む。国の「福島イノベーション・コースト構想」の一つで、研究開発、実証実験を行う最新設備を備える。これまでに20の事業者が研究室に入居した。技術の集積による新産業の創出を促し、地域経済への波及を目指す。

毎年7月に開かれる「相馬野馬追」は地元の心のよりどころ。1000年以上の歴史を持つ国の重要無形民俗文化財で、住民は育て上げた愛馬に武者姿でまたがり、甲冑競馬や神旗争奪戦を繰り広げる。原発事故後も故郷の連帯を紡ぎ続ける。

19年4月にスタートした市復興総合計画の後期基本計画は「100年のまちづくり」を掲げる。出生数は震災前から半減し、根強い風評被害にさらされる農林水産業は担い手不足が顕著だ。地域の将来を支える人材の育成や確保が今後の大きな課題となっている。



昨年3月、津波被災地に完成した「福島ロボットテストフィールド」。広大な敷地に多くの研究施設がありAIロボットやドローンの開発などが行われている

● まちのデータ

人口	2021年4月1日 5万2392人	11年3月1日 7万752人	増減率 -25.9%
復興交付金	507億1593万円		
犠牲者	死亡 525人	行方不明 111人	関連死 520人
住宅被害	全壊 2323棟	半壊 2430棟	一部破損 3718棟

※復興交付金は復興庁まとめて、南相馬市内で実施された福島県事業への交付分を含む。人口、犠牲者、住宅被害は県まとめ

2020年



2012年



● まちの動き

- 2011年**
- 3月11日 地震発生。南相馬市原町区などで最大震度6弱。9.3%以上の津波が襲来し、約1300世帯が浸水
- 12日 東京電力福島第1原発の事故で、原発から20km圏内となる小高区全域と原町区の一部に避難指示
- 15日 第1原発20~30km圏内に屋内退避指示
- 16日 原発事故を受け、市が独自に緊急避難計画を策定。全市民の市外への避難を促す
- 5月25日 第1原発20km圏内の警戒区域への一時立ち入り開始
- 9月30日 第1原発30km圏内の緊急時避難準備区域を解除
- 12月21日 J R常磐線原ノ町-相馬間が運転再開
- 2012年**
- 4月16日 警戒区域が解除され、帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域に再編
- 7月28日 相馬野馬追を2年ぶりに通常開催
- 9月3日 市内の本格除染が始まる
- 2013年**
- 8月26日 旧警戒区域の除染開始
- 2014年**
- 3月23日 鹿島区に市内初の災害公営住宅が完成
- 4月23日 市立小高病院が外来診療を再開
- 12月28日 第1原発20km圏内の特定避難勧奨地点が解除される
- 2015年**
- 3月1日 常磐自動車道が全線開通。原町区の災害公営住宅が完成
- 25日 市が「脱原発都市」を宣言
- 2016年**
- 7月12日 J R常磐線小高-原ノ町間で運転再開。帰還困難区域を除く避難指示が全て解除される
- 2017年**
- 4月6日 小高区の小中学校が地元校舎での授業を再開
- 2018年**
- 12月7日 小高区に公設スーパー「小高ストア」が開業
- 2019年**
- 7月20日 北泉海水浴場が9年ぶりに海開き
- 2020年**
- 3月31日 福島ロボットテストフィールドが開所

1998年



● まちの宝



相馬野馬追

相馬野馬追には例年、南相馬市などから約400騎の騎馬武者が繰り出す。コロナ禍の昨年は騎馬行列や神旗争奪戦などは見送られ、神事が中心になったが1000年の伝統は守った。



アイスまんじゅう

地元で約70年も親しまれている松永牛乳の「アイスまんじゅう」。硬めのアイスを気長に凍らせていると、やがてしっとりとしたこしあんが現れる。市民の「ソウルスイーツ」だ。

太陽光パネルが並ぶ南相馬市原町区の菅浜(かいばま)地区。内陸側に見える福島ロボットテストフィールドが地域の期待を担う。2020年11月18日

津波で甚大な被害を受けた南相馬市原町区の菅浜地区。1年以上たっても震災の傷跡が残っていた。2012年12月2日

かつての菅浜地区。田畑が広がる中に集落があった。1998年3月(福島県相双建設事務所提供)